



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『受けるよりは与える方が幸いである』

聖書(使徒言行録20章35節)

牧師 河合裕志

普通イエスの言葉は四つの福音書の中に載っている。ところがこの言葉は使徒言行録に記録されている。これはどんな事情によるの？

これはパウロの説教の中に出てくる。パウロがエーゲ海沿いのミレトスにエフェソ教会の人達に集まってもらい別れの言葉、説教を述べる、その最後のところに出て来る。

「あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました」。

パウロは天幕作りをしながら伝道に当たった。教会の仲間の援助を全くは無視せずこれは感謝して受けたけれど、なるべく人に迷惑はかけたくないというのが彼のやり方。自ら稼ぎ、また仲間のためにも働いてこれを支えた。そんな彼の心に覚えられていたのがこのイエスの言葉。

イエスは「山上の説教」で、〇〇する人々は幸いである、と八つの幸いを言っていたけど今回のこれは九つ目の幸いになるかも。何が幸いなのか。与える方が幸いですよと。弱い者を見てこれに与える、支援する。こういう者は人から受ける、助けてもらうこ

と以上に幸いだよ、神に喜ばれるよ、と。

「弱い者」これは様々な重い病気の人、身体にハンデを持っている人、十分に年をとった人々、つまり働きたくても、収入を得たくてもままならない人々のこと。今日では働ける丈夫な体をもっていても適当な働き口がないといった人々も含まれる。こうした人達のために今働ける人が働いて収入を得て可能な範囲で与えて行く、サポートして行くということ。これが求められる。どこかの社長さんは9億円も年収を得ている。そんなに取ってどうするの、1億もあれば充分じゃない？ あとは社員や非正規社員に分配したら？ あなたも経営トップで頭を使っているのはわかるけどいくらなんでも多すぎるよ、イエスは悲しむよ。

まず一人一人が弱い人達を支えて行こうと思うこと。そして社会としても国としてもこの方向で充実して行くこと。沢山の資金が必要になってくる。どうやってこれを工面する？ 消費税をアップする？

とにかく国民全体が応分の負担をせねば。私達もいずれは働けなくなる。年をとり体が弱ってくる。年金、介護、人々の世話になる。好まなくても受ける者になる。その時には感謝してこれを受けよう。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後 6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前 9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時